



ワレリー・セルゲーヴィチ・アルフェーエフスキー
『ワニのゲーナとおともだち』
(1966・絵本初版・表紙)



ヴラジミール・シビタルニーク
『ワニのゲーナとおともだち』
(1966・絵本挿絵・原画)



タチヤナ・ウスヴァイスカヤ
『ワニのゲーナとおともだち』
(2002・絵本挿絵・原画)



アレクサンドル・ヴィノクローフ、
レオニード・シュワルツマン
『黄金のかもしか』(1954・エスキース)



アレクサンドル・ヴィノクローフ
『雪の女王』(1955・エスキース)



ミハイール・アルダーシシ
『クリスマス物語』(1996・セル画)

ある日オレンジの箱に入って、南の国からロシアにやってきた不思議な生き物チェブラーシカ。1966年エドゥアルド・ウスペンスキーの童話『ワニのゲーナとおともだち』に初登場し、ついで1969年人形アニメの巨匠ロマン・カチャーノフ監督によってアニメーション化されると、ロシアにおいて絶大な人気を誇る国民的キャラクターとなりました。大きな耳と茶色の毛、つぶらな瞳が特徴で、無邪気でひたむき、愛らしくて、どこか哀愁を帯びたチェブラーシカは、日本でも幅広い層に親しまれ、2010年にはロシアの二人の美術監督と日本人の監督による新作映画が上映されました。

本展は、人形アニメ『チェブラーシカ』のスケッチや絵コンテ、人形やマケット(舞台装置)、映像、童話の挿絵原画など貴重な作品を展示し、キャラクター誕生からその変遷、アニメーション映画の創作過程などを多面的に紹介し、その人気の秘密に迫ります。

また、2012年に生誕100年を迎えたロシア・アニメの魅力を、名作『雪の女王』(1957年、レフ・アタマーノフ監督)のエスキース(下絵)や絵コンテをはじめ、現在活躍中のロシア・アニメ作家たちの原画、アニメ素材などで紹介します。



Illustration
© Tatiyana Usvaiskaya, 2002

関連事業

1 ロシア・アニメーション上映会

プログラム

6月15日(日)(約60分)『チェブラーシカ(オリジナル版)』4本

『ワニのゲーナ』1969年／『チェブラーシカ』1971年／『シャバクリャク』1974年／『チェブラーシカ学校へ行く』1983年

7月6日(日)(約45分)『ミトン』他短編3作品

7月27日(日)(約60分)『雪の女王』1957年

8月17日(日)(約60分)『チェブラーシカ(オリジナル版)』4本

『ワニのゲーナ』1969年／『チェブラーシカ』1971年／『シャバクリャク』1974年／『チェブラーシカ学校へ行く』1983年

時間:各日午後2時～
会場:新津美術館レクチャールーム
参加費:無料
定員:先着100名
(整理券を当日の12時30分～会場付近にて配布)
※事前申し込み不要(当日整理券が必要です)

2 ロシア音楽miniコンサート

演奏:弦楽アンサンブル イントウラーダ
(全ロシア音楽コンクール優勝者)

日時:6月21日(土)
午前11時～(30分程度)

会場:新津美術館アトリウム
参加費:無料(ただし観覧券が必要です)
※事前申し込み不要

4 新津美術館ボランティアによる【絵本の読み聞かせ】

日時:6月29日・7月20日・8月3日
8月10日(日)

午後1時～午後2時～
(20～30分程度)

会場:新津美術館アトリウム
参加費:無料(ただし観覧券が必要です)
※事前申し込み不要

3 親子たいけん教室「パラパラアニメに挑戦！」

アニメーションの作り方を学び、パラパラアニメーション作りを体験します。

講師:福澤大玄氏
(日本アニメ・マンガ専門学校講師)

日時:7月13日(日)
午前10時～12時

会場:新津美術館レクチャールーム

参加費:1人300円(材料費)

対象:小学生と保護者

定員:20組 ※要申し込み

◎申込方法(申込受付 6月30日必着)

往復ハガキで新津美術館

〒956-0846

新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1

「たいけん宛」宛に

①参加者全員の氏名(子どものみ学年)

②住所

③電話番号を明記の上お申込み下さい。

※定員を超えた場合抽選

ロシア文化フェスティバル2014 IN JAPAN(新潟オープニング)事業

「チェブラーシカ」講演会

講師:エドゥアルド・ウスペンスキー氏
(『チェブラーシカ』原作者・児童文学作家)

日時:6月14日(土)午前10時30分～12時

会場:新津美術館レクチャールーム 参加費:無料

定員:100名(定員を超えた場合抽選)※要申し込み

◎申込方法(申込受付開始5月7日～5月29日必着)

往復ハガキで〒951-8550(住所記入不要)

新潟市国際課「チェブラーシカ講演会係」宛に

①参加希望者氏名・ふりがな(ハガキ1枚に2名まで)

②代表者住所 ③電話番号を明記の上お申込み下さい。

※定員を超えた場合抽選

主催 ロシア文化フェスティバル日本組織委員会・ロシア連邦外務省・ロシア連邦文化省 共催 新潟市

ロシアコレクション・古写真展「明治の風景とそこにいた人々」

ロシアのコレクターが所蔵する明治の日本で撮影された古写真から、街の風景と人々を撮影した写真を展示します。動乱の幕末と明治維新を乗り越え、西洋化の波の中で生きる人々の姿を写した、貴重な写真をご覧ください。

日時:6月20日(金)～29日(日)

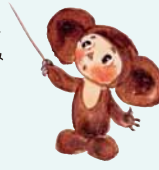
午前9時30分～午後5時

※オープニングセレモニー

6月20日(金)午後1時～

会場:新津美術館市民ギャラリー

観覧料:無料



同時開催

○6月14日～8月17日

新津美術館コレクション展Ⅱ「東欧の絵本原画」

当館のコレクションから、ブラチスラヴァ世界絵本原画展(BIB)の1998年日本巡回展の出品作品を展示します。

NIIGATAアトリウム2014(～2015.3.31)

4館を巡りスタンプを集め景品をもらおう!

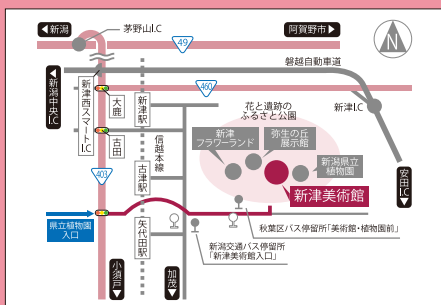
□新潟県立近代美術館(長岡) 法隆寺 祈りとかたち 7月5日(土)～8月17日(日)

□新潟県立万代島美術館(新潟) 近藤喜文展—新潟が生んだジブリの画家 7月4日(金)～8月31日(日)

□新潟市美術館(新潟)

金子孝信展 6月21日(土)～7月27日(日)

□新潟市新津美術館(新潟)



美術館サービス

こどもタイム ※会場に音楽が流れます。親子で会話を楽しみながらご鑑賞下さい。

会期中の第1・3木曜・日曜日[6/15・19・7/3・6・17・20・8/3・7・17] 【時間】9:30～13:00

託児サービス(無料)

【対象】生後6ヶ月～就学前のお子様 【申込方法】先着順。各申込締切までに電話(0250-25-1300)でお申込み下さい。

◆会期中の第2・第4の木曜・土曜日 [6/14・26・28・7/10・12・24・26・8/9・14] 【時間】9:30～12:00 【定員】3名程度 【申込締切】利用日の3日前まで

◆関連イベント託児サービス[6/14・7/13] 【時間】イベント開始30分前～終了30分後まで 【定員】10名 【申込締切】利用日の7日前まで

交通のご案内

〒956-0846

新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1

花と遺跡のふるさと公園内

(新潟県立植物園となり)

TEL.0250(25)1300

FAX.0250(25)1303

http://www.city.niigata.lg.jp/nam/

JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行き」(発車時刻9:25 13:10)に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行き」(発車時刻9:05 11:25 12:35)に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。

JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」(発車時刻11:49 15:34)に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「新津行き」(発車時刻9:11 12:13 13:25)に乗車、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。

JR古津駅から徒歩約25分 JR新津駅からタクシー約15分/JR矢代田駅からタクシー約5分

磐越自動車道・会津若松方面から新津ICより約20分・[新潟市街地方面から]新潟市スマートICから約15分

※新津市スマートICは会津若松方面の出入りにはできません。